

一〇一三年二月二日

胸元に柚子を抱きて長湯せり
人垣に餅搗く人の杵高く
散紅葉敷きつめてゐる駐車場

やよい
あひる
なおこ

クリスマスソング唄ひつ厨ごと
百歳の手塩の冬菜頂きぬ

康子
きよえ

一〇一三年二月二日

幼な子の言ひ訳を聞く懷手

みきお

柚子風呂や大玉小玉犇めきて
風意地悪追ひつ追はれつ落葉掃く
恙き一年を謝す柚子湯かな

澄子
康子
千鶴子

一〇一三年二月二〇日

過疎となり日曜菜園冬ざるるれ
暮早し門扉に掛かるお裾分け
ぽんぽんと柚子投げくれし庭師かな
すれ違ひ会釈でごめん年の暮
サンタ帽被り鎮座す盲導犬

せいじ
明日香
千鶴子
智恵子

一〇一三年二月一九日

観劇の半券が出しき日記
日記買ふまづは佳き日の予定書き

なつき
康子

着膨れて墨糸絞る宮大工

素秀

頬さすり美肌うべなふ柚子湯かな
踊場の面積占むる聖樹かな

康子
あひる

一〇一三年二月一八日

犬小屋に飾るリースとサンタ帽
銃声の遠くこだます冬の山

智恵子
素秀

一〇一三年二月一七日

底冷えや地団駄踏みつ神事待つ
折り紙の散らばるごとし紅葉坂
手遊びの木彫りのお椀蕪汁
書込み欄広きを選び曆買ふ
冬木立深く貫く落暉かな

明日香
豊実
たか子
せいじ

一〇一三年二月一六日

クリスマスツリー競演アーケード
聖歌弾き継げる空港ピアノかな

たか子
なつき

毎日句会みのる選・一〇一三年二月一四日